



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南省日方1294 海南商工会議所内 T E L (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♠ オ1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所 4 F
会長 柳川和一郎 幹事 宮田敬之佑 会報委員長 土岐甚五郎

第114回 例会 昭和52年11月7日（月）於海南商工会議所

1. 開会 司会 柳川和一郎 会長

2. 国歌斎唱 「君が代」

3. ロータリーソング 「Sing Everyone Sing」

4. 出席率 96.97% 会員総数 33名 出席者数 32名

前回修正出席率 100%

出席標語 『出席も権利と思えば尚愈しあ』（河尻君）

5. ゲスト 第266地区ガバナー 菅生謙三様

〃 地区幹事 前田博三様

6. 会長スピーチ

菅生ガバナーには早朝より神戸市を御出発、私ども海南東R.C.の公式訪問にお越し願い、会長幹事懇談会を初め三時間にも及ぶクラブ協議会とお休みいただく間も無く長時間にわたり、御指導を賜わりましたがお疲れの様子もお見せにならず、三度例会の席にも出席していただきました。

本日先生から伝授されたロータリーについてのいろいろな情報は恐らく協議会に入る前にも申しました通り各人が将来必ずロータリアンとして、又ロータリーの組織の中で生き生きと甦えり、大いに役立たせる事の出来る情報ばかりであったかと思います。

本日は夜間例会と定められて居りましてガバナーには、次の訪問地の串本との連繫方法でずい分と御迷惑をおかけ致しました事をこの席からお詫び申し上げます。これから一連の月初めの一例会を見ていただき、のち記念卓話をお聞かせいただける事になって居ります。この講演も又ロータリーに密接したお話の由承わっておりますので御静聴の程御願い申し上げます。

7. 幹事報告

○ 会長、幹事会

とき 11月26日（土）12：00～

ところ 日高郡由良町 白崎荘

SERVE TO UNITE MANKIND 全人類を結びつけるために奉仕せよ

○ チャーターナイト案内

美濃関R.C. 53.3.21 岐阜グランドホテル

8. 卓 話 才266地区ガバナー 菅生謙三様

非常に和やかな会合ですね、ロータリアンは何処へ行っても友達が居られる。ロータリークラブへ入ることは本当に幸せなことだと思います。これは世界80万の人達と目的を同じうし合ふ会合ですから、海南東ロータリークラブへ入っただけで世界に繋がることになるわけです。これは非常に有難いことですね。本当に幸せなことです。感謝すべきことだと思います。この事を思いついた時にもう一度ふりかえってロータリーを考えてみる必要があると思います。私のこの地区のサブテーマが感謝ということになって居りますが、どうすれば感謝の気持を表現しうるかというと非常に難しい問題です。こうすればこうなるという作為的な気持が働いた時は具合が悪いと思います。ロータリーの初期に4人が集って会合を開いて居った時分は問題がなかったと思うが、会員が増えて来た時点に於て『彼等は自分達だけの利益のために会合して居るのではないか』という非難が出て来た時、これはどうしても外部に対して働きかける。

即ち Serviceを考えねばならないのではないかと思い始めたわけです。それに一年半位かゝったこのクラブは既に二年を経過したわけですから、勿論このServiceには気付て居られると思います。何かをするためにServiceをするでは具合が悪い。奉仕が手段になっている。ロータリーの綱領の中にあるServiceは目的を考えないServiceが理想であると思うわけです。自分の職務を義務により一生懸命にしたということでServiceにならない、義務を超えた奉仕こそServiceだと思う。又自分が奉仕したつもりでも相手の要求にマッチして居らなければ何にもならない。相手が感謝する様なことでなければServiceにならないと思います。

大阪駅で年老いた婦人が大きな荷物を持ってヨタヨタして居る、そこへ通りかかった青年がその荷物を持って発車しかかっている列車にやっとお婆さんを乗せた。又何の気無しに持って帰った小冊子に百円と書いてあったのでお詫びのしるしに手紙を添えて百円を送った話、同僚のロータリアンがそれ程迄しなくても良いと云うのを振り切って、止むに止まれずお詫びの手紙を出したわけです。この様な行為は非常に立派なことだと思います。止むに止まれず純粋な無垢な気持で奉仕活動をするということこそ理想であります。

先程職業奉仕委員長が四つのテストを心掛けて行きたいと云われましたが、四つの中一つでもすること成すことが自然にその様になっていると云うことが大切だと思います。日常の行動の中でこの四つのテストが実行されるということが理想です。そのためには非常に努力せねばならない。例会に出席するというのはこの努力をするために来ているわけです。せめて一週間に一度位は修養のために例会に出席するのだという心掛けが必要です。ロータリーの規定の中では、出席は義務である様になって居ますが出席は権利であると言う人がありますが、この様な意識を持たれた方は非常に立派な方であると思う。私はまだ至らぬ人間ですからどうしたら感謝の気持を持てばよいか色々思考索誤して居りますが、特にガバナーのした事と云うものは会長の仕事も同様ですが、

感謝の気持がなければこんな忙しい神経の使う仕事など引受けられません、努力して居るからこそ出来るのであります。又努力する人間に対して相手方は敬意を認める様になるものです。私は自分の立場からして敬愛される様な人間にになりたい、人から親しみ易い人間になりたいと思います。その人の尊厳というのは他の人がつくるものです。

先程から見て居りますとこここのロータリーの会員の方々は、実に和氣あいあいとしてこのロータリーを良くしようと努力されておる。情報委員長も言っておられる様に皆と一緒に努力しようとおられる。そしてこの例会も33名中32名迄出席しておられる。これは奇蹟だと思います。この間の情報委員会でも私は言いましたが忙しい中又重要な職務のある方があれだけの数、お集りになってロータリーを研究し修養されに来ている。これは奇蹟だと云いました。これは他ならぬロータリーを信奉しているからこそ出来るのであります。

ロータリーは本当にユニークなフェローシップで結ばれておる。そのフェローシップに結ばれているロータリアンの一人になり得たということに対し感謝をせねばならないし、又私がこの5,000人のロータリアンのリーダーシップを委託されたことに対し何と幸福であるかと云うことを自分に言い聞かして、この後の任期をつとめ上げたいと思います。有難うございました。

ロータリーに関する感銘的な思想

世代間の断層をなくそう

……ロータリーは年をとって行くと共に勿論、また賢くなつて行きます。しかしロータリーを初期のさきやかな存在から今日の、人を眩惑させるような偉大さにまで築き上げるのに功績のあった先輩の会員を今尚多数擁してはおりますが、ロータリーは決して「老人のクラブ」ではありません。われわれは、歳月の流れと共にロータリーに「心の若さ」を保たせねばなりません。そしてそれを達成する唯一の途は脈打つロータリーの血管に絶えず若い血液を注入することあります。

そこで、今後会員候補者を物色する際には、年輩の社長だけでなく、若手の、そして特に小規模の、実業乃至専門職業にたずさわっている人に目を向けることです。ロータリーはややもすると小規模の事業主を見落しがちであります。でも現実に彼らは居るのであり、しかもロータリーからの「名誉ある」入会歓迎の声を待ち望んでいる場合が非常に多いのであります。確かに、ロータリーは年をとつて行きます。けれどもロータリーに「世代間の断層」があつてはならないのです。そのためによくまでも努力しようではありませんか。

—THE KEY WAY 米国マサチューセッツ州 ウィルミントン
彼を推薦したのはあなたです！彼はどうしていますか？

ミネアポリスのロータリーは「多忙な」人即ち自分の職業と地域社会のことで忙しい人だけを会員に選びます。「多忙な人」というのが選考の基準であります。ですから、「あまり忙しくて」適度の委員会活動に従事することも規則的に例会へ出席することもできないというのはロータリーでは通用しない口実であります。

あなたが推薦した人はどうでしょうか？彼は活動していますか。ロータリー精神を会得し始めていますか？もしそうでないなら、それはクラブにとっても彼にとってマイナスあります。そのような場合、多分あなたなら彼を助けることができるでしょう。あなたが推薦した人のことを調べて下さい。

—JOURNALETTE 米国ミネソタ州 ミネアポリス



ニコニコBOX

※お誕生日おめでとうございます。

田岡啓一君、谷井昭三君、山野明君、奥村匡敏君

※奥様のお誕生日おめでとうございます。 林孝次郎君

※結婚記念日おめでとうございます。

奥村匡敏君、林孝次郎君、片山博之君、松田易己君、楠部賢計君、中村雅行君、西川富雄君、藤原長良君

西岡 豊君 (当クラブゴルフコンペにて優勝)

平尾寧章君 (" 準優勝)

谷井昭三君 (" 3位、昨日の冬十会のゴルフコンペにドラコン一位)

坂上充作君 (" B.B.)

追田博司君 (" ドラコン一位)

山野 明君 (電気工事組合ゴルフコンペにて優勝)

山野裕正君 (お手元にお配りしたP.H.P道をひらくをお持ち帰えり下さい、私は座右にしておりますが御家族或は事業所の若い方に読んでいただけたら幸いと思います)

奥村匡敏君 (父が県社会福祉大会で表彰されました)

中村隆俊君 (クラブ協議会でガバナーにお誉めに預った)

柳川和一郎君 (本日のガバナーを交へてのクラブ協議会無事終了、御協力を感謝します)

米山BOX

柳川和一郎君 (本日のクラブ協議会に皆様の御協力を感謝します)

宮田敬之佑君 (全 上)

河尻 鳩親君 (米山委員会長としてニコニコ同様今后の御協力をお願いします)

次回例会案内 № 115 昭和52年11月14日（月）PM 12:30～ 於海南商工会議所
ロータリー財団 角谷委員長 ミロータリー財団週間にちなんで
ゲスト 卓話 衆議院議員 中西啓介氏

№ 116 昭和52年11月21日（月）PM 12:30～ 於海南商工会議所
ゲスト 和歌山少年鑑別所長 佐竹清美氏

奉仕……それは感謝の気持から

オ266地区ガバナー 菅生謙三

奉仕するために出席せよ

1977～78年度会長 柳川和一郎